

暑い夏に熱気で立ち向かえ！  
日本全国が活気づき、心躍り、体が騒ぐ「夏祭り」。  
夏の思い出づくりに絶好のイベントを紹介！

高ぶる気持ちが列島縦断  
情熱の風景

夏祭りの  
名所を巡る



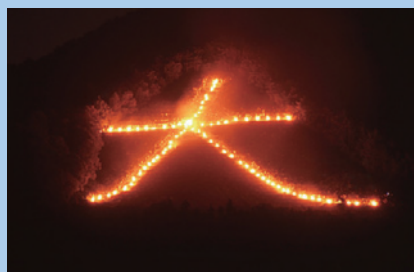
## 巨大な灯籠が力強く青森市街を練りすすむ 青森ねぶた祭

300万人以上が訪れるこの祭は、七夕行事が由来といわれている。艶やかに色付けられた和紙貼りで、人形型の「ねぶた」が生気をみなぎらせ道をうねり進む姿は圧巻。最終日には打ち上げ花火を背景にした海上運行もある。

- 開催時期／毎年8月2日～7日
- 開催地／青森県青森市中心部
- アクセス／青森道青森中央ICから約15分
- お問合せ／青森ねぶた祭実行委員会事務局  
(公社)青森観光コンベンション協会  
tel.017-723-7211



## 東の間のかがり火に亡き者の魂は焔めく 五山送り火



- 開催時期  
8月16日
- アクセス  
京都市内各所から見られる。人気のビュースポットは賀茂川(鴨川)堤防、北山通(ノートルダム女学院周辺)、高野橋北など
- お問合せ  
(公社)京都市観光協会  
tel.075-752-7070

盆の翌日に故人の精霊が冥府に帰るのを炎とともに送る仏教的行事。一般に知られる東山如意ヶ嶽の「大文字」の他に「船形」など計五つが夏の間に浮かび上がる。大切な人を偲びまたの再会を想うのはいかがだろう。

## 艶やかな灯りが夏夜に舞う 山鹿灯籠まつり



- 開催時期  
8月15日～16日
- 開催地  
熊本県山鹿市街地一円
- アクセス  
九州自動車道菊水ICから約15分  
または植木ICから約20分
- お問合せ  
山鹿灯籠まつり実行委員会  
(山鹿市商工観光課内)  
tel.0968-43-1579

日本武尊の父とされる景行天皇が深い霧に迷うなか、山鹿の里人がたいまつを掲げてお迎えしたことに起源する。最大の見どころは、浴衣姿の女性が灯籠を頭に載せてしなやかに舞う「千人灯籠踊り」。幻想的で実に美しい。

## 響き渡るお囃子と烈々たる舞 徳島市阿波おどり



- 開催時期  
8月12日～15日
- 開催地  
徳島県徳島市内各所
- アクセス  
徳島道徳島ICから  
国道11号経由で約10分
- お問合せ  
徳島県観光協会  
tel.088-652-8777

四国三大祭の一つとされ、全国的にも名高い徳島市阿波おどりは約400年の歴史を継承し、今も人々は笛などの「鳴りもの」に熱狂し一心不乱に踊る。有料演舞場もあり、楽しみ方はそれぞれだ。

## 人々は踊りに酔いしれ夜は徐々にふけてゆく 郡上おどり



- 開催時期  
7月12日～9月6日
- 開催地  
岐阜県郡上市八幡町市街地
- アクセス  
東海北陸道郡上八幡ICから  
約10分
- お問合せ  
郡上八幡観光協会  
tel.0575-67-0002

日本三大盆踊りの一つ。三十二夜をかけて様々な場で開催されるので人々は暑さなど忘れ浮き足たつ。誰でも気軽に参加できるので楽しさも倍増だ。四日間続く「徹夜おどり」で街の興奮はピークに達する。

宮城県

# 仙台市

SENDAISHI

初代藩主・伊達政宗公に見守られ、  
緑多き自然に癒されるこの街は  
活気ある顔ものぞかせ魅力に溢れている。



仙名城跡の眺め良い天守台(本丸跡)にある「伊達政宗公騎馬像」。初代藩主は今も市中を見渡している。観光スポットとしても人気。

Landscape with Keeper  
キーパーのある風景



仙台の都市としての発展は、伊達政宗公が1601年(慶長5年)から始めた仙台北城とその城下町の建設に起因する。そんな由緒正しい歴史に根を下ろした街は着々と進歩を遂げ、今や高層ビルも立ち並ぶ東北地方の最大都市となった。

一方で、「杜の都」と呼ばれるほど緑豊かで四季折々の表情も感じられる。都心周辺には国の史跡に指定された仙台北城跡などがある青葉山が緑を茂らせ、灯ろう流しの舞台となつている広瀬川が流れていたりと、澄んだ空気を街へと送り届けている。都心部もそれを受けけるかのように自然が息づき、仙台駅から延びる青葉通のケヤキ並木、広瀬通のイチヨウ並木は通りに列をなすビル群と歩く人々を深呼吸に誘うようだ。

青葉通を西へ抜け一番町ショッピング街に着くと、そこはやはり都会らしい賑わいを見せる。8月の仙台七夕まつりでは、約3000本の彩り鮮やかな笠飾りが市内を埋めつくし人々を更に楽しませる。

9月には、もう一つのメインストリートである定禅寺通を中心に日本最大級とも言えるジャズフェスティバルが行われるなど、多様な魅力をもつ街だ。



### 国宝 大崎八幡宮

伊達政宗公によって慶長12年に創建された社殿は、日本最古の権現造りとして国宝に指定されている。内装・外装ともに漆塗が施されており、漆黒の社殿は極彩に色彩られ、その様は豪華絢爛。応神天皇以下3柱の御祭神をお祀りし、必勝・安産の神様として広く信仰を集めている。

仙台市青葉区八幡四丁目6番1号  
tel.022-234-3606



### 一ぶる仙台

仙台駅を起点に観光地をつなぐレトロ調デザインの循環路線バス。約70分をかけて様々な観光地を巡る。各停留所で乗降自由なのでお目当ての観光スポットで降り、おほみに旅の演出もできる。一日乗車券(大人620円)でいくつかの観光地の割引が受けられるのも魅力だ。

【仙台市交通局】  
仙台市青葉区木町通1-4-15  
tel.022-224-5111



### 広瀬川灯ろう流し

仙台の一つの象徴として親しまれている川が、送り盆の8月20日に鎮魂の灯とともにゆらく。始まりは、江戸時代の大凶作で亡くなった者たちを供養するため。今は誰でも参加できる夏の風物詩ともなり、最後に上がる花火に人々は夢物語を見る。

【広瀬川灯ろう流し実行委員会】  
仙台市太白区長町5-1-5長町駅前プラザ内  
tel.022-304-2321



### 味太助本店

昭和23年開店の仙台名物牛タン発祥の店であり、ここから「牛タン」は広まった。塩とコンソウの味付けはシンプルだが、その割合と量が「技」であり、食べる直前にふりかける唐辛子も相まってクセになりそうだ。初代が開発したテールスープも名物メニュー。

仙台市青葉区一番町4-4-13  
tel.022-225-4641